

啓伸塾 便り

9月(長月)
September

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、新入塾生募集中

依存という言葉は、あまり良い意味で使われません。この意味は、辞書で調べると「あるものや人に頼り、それがないと成り立たないほど大きな影響を受けている状態」という意味になります。

例えば、ゲーム依存、勉強しない、朝から晩までそればかりしている。どうしてそうなるのか・・・?

それはそのゲームをする子にとっては、面白いからです。

ゲーム依存の子は、そのゲームばかりしています。そうするとどうなるのか? そのゲームに限り、上手になります。

上手になるとどうなるか? 達成感を味わい、「気持ちいい」という感覚を味わい、ますます、そのゲームにのめりこみます。

この達成感「気持ちいい」という気持ち! これが次も頑張ろう、この達成感を味わうために、頑張ろうという気持ちになり、自らやり続けます。いわば、麻薬のようなものです。

人間は感情の生き物です。理性によるブレーキはありませんが、社会やまわりの人に迷惑をかけない限りは欲に従い、欲に抗えないのが人間です。人間に感情がある限り、欲はつきまといまいます。

「ハマる」のも何らかの欲があるからです。勉強をゲームのように、これを勉強に置き換えることは出来ます。

勉強に置き換えることが出来れば、まわりから「勉強しろ!」といわれなくても、どんどん続けることが出来、その子の未来は広がるでしょう。確かにゲームでもその子の未来は広がりますが、勉強ほどの広がりはないといえます。

では、勉強をゲームのように依存状態にするには、どうしたらいいかを、ここからお伝えしたいと思います。

しかし、ここで終わったら、何もありません。

今度は自分一人でやってみる。一人でやってみることを繰り返して、ハマりこみ、勉強依存になり、勉強が続けられるのです。

問題が解けて気持ちよかったです!
理解出来なかった問題が理解できて、スッキリした!
これまで出来なかった問題が自力で解けて自信がついた!
このように「勉強が欲を満たしてくれるもの」になれば、勉強にハマり込んでいきます。ハマるためには、どうしても欲を満たし、脳内で快楽物質を出すことが必要になります。そのために「自分で出来た経験」(達成)を増やすのです。

そして、質問もしやすく出来るような雰囲気を作っています。「最初はわからなかったけど、先生が説明しながら解いていくのを見て、聞いて、自分でも出来るのではないかと思えた。そしてやってみたら解けた。あ、気持ちいい!」となるように、勉強欲が満たれるように心がけています。

小学生の保護者の方へ

中学生の数学・理科の勉強をみていると、小学校の基礎が出来ていなくて、苦勞している子が多いです。ミスが多い子は、九九や分数・小数等の計算の基礎ができていません。また、言葉の意味を理解出来ない子も多いです。助詞(へ・の・に・と など)の理解が出来ていないのです。図形や文章問題も、イメージしたり、図形を描いたりして問題の意味を理解しようとするのが、文章題を解く上では必要不可欠です。文章を記憶に残そうとすることで理解しながら読む力がつくれる。基本を学ぶ小学校の学習は、とても重要です。

このようなことにより、小学生のみなさんには、今の授業の問題とこれまでの内容との2問の復習テストを毎回行っています。普段、学校の算数の授業では、最初に計算問題を練習して、その後文章題を行います。例えば、かけ算の単元だと、文章題では、問題に出てきた数字をかければ、ほとんどの問題は正解になってしまいます。ですから、かけ算の意味を理解しないまま済んでしまいます。これは、足し算でも引き算でも、割り算でも同様です。そのため、復習テストではあえて何の計算をして解くのかを考えてもらう問題を出しています。

公立高校の入試問題は、以前と比べ変わってきています。数学では、今までより、長めの文章題になり難易度も高まり、平均点も年々下がっています。また、社会のテストにおいても、資料の読み取りや構成比などの割合の計算の問題も年々増えてきました。理科でも計算問題は当然のように出題されます。小学生のうちから文章問題の練習をしていけば、中学になって高校入試の際も、確実に出来るようになります。自主勉も、宿題もしない状態では、文章を読む力、へこたれずに頑張っている組む力が育つはずありません。

「めんどくさい」という言葉をよく聞きますが、これは社会では通用しません。

わからない問題に出あったら、その問題の解き方がわからないのか、それとも問題の意味がわからないのかを見極める必要があります。文章を理解することは、勉強のためだけでなく、社会に出るためにも重要なことなのです。

中学からの数学の方程式や証明問題では、問題の文章から条件や式を使って解答へ導いていかねばなりません。読み取る力と言葉を書く力が非常に大切になります。文章を声に出して読み、図に描き、よく考える。小学校の今、頑張りましょう。

保護者の方は、お子様が、わからない問題を質問してきたら、問題の意味がわからないのか、その問題の解き方がわからないのかをしっかりと見極めてから、教えてあげるようにして下さい。

9月の予定

中3生入試対策講座

9月5日(土)午後1時30分より5時まで、毎週土曜日開始いたします。

夏期講習から始まった受験勉強が本格化します。ご予約ください。

第2回漢字検定

11月6日(金)第2回漢字検定を行います。締め切り日 9月30日(水)です。

中3生は高校受験での願書に載せられる最後のチャンスになります。

特に中3生は、受験勉強の一環として受験してみてください。

祝日の授業について

9月21日(月)~23日(水)小・中学生とも授業を休みます。ご予約ください。